


公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	老人デイサービスセンターすえひろ	所在地	須坂市大字須坂1243番地1			
施設分類	保健・福祉施設	所管課	高齢者福祉課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	621.42			
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当			
設置根拠	須坂市老人デイサービスセンター条例	設置の目的・経緯	在宅虚弱高齢者等に対し、通所による福祉サービスを提供し、利用者の自立的生活援助、心身機能の維持向上、社会的孤独感の解消及び家族介護の負担軽減を図る。		交通アクセス	長野電鉄須坂駅から徒歩5分
事業内容	介護保険法による通所介護事業	貸付の有無	無			
管理運営の状況	指定管理	委託内容	介護保険法の規定による通所介護業務(要介護者を居宅から施設まで送迎し、通所により機能維持・機能向上を目的とした機能訓練やレクリエーション、入浴や食事などの介護サービスを行う)			
備考（その他特記事項）	須坂市老人デイサービスセンター条例第5条第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額の範囲において、利用者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする収入とすることができるため、指定管理委託料の支払いは行っていない。					

2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	6	地下	1	建築面積		延床面積	621.42
構造 （主たる建物）	鉄筋コンクリート造			建築年度 （主たる建物）	2003	築年数 （主たる建物）	22	
取得価格	150,829,000			耐震化の状況		新耐震基準施設		
帳簿原価	150,829,000			バリアフリー対応		訓練室兼食堂、休養室、洋室、脱衣室、厨房、静養室、事務室、トイレ、職員休養室、ロッカー室、駐車場等		
減価償却累計額	66,364,760			省エネルギーの対応状況				
老朽化率	44%			施設の劣化状況		経年劣化による故障が度々あり、緊急修繕等を行っている		

3 施設コスト

		2022	2023	2024	3年間の平均値
費用	人件費				
	委託料				
	光熱水費				
	維持補修費	563	682	1,722	989
	減価償却費	3,318	3,318	3,318	
	指定管理料	0	0	0	
	その他				
費用合計		3,881	4,000	5,040	4,307
収入	利用料等収入				
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		0	0	0	0

収支	-3,881	-4,000	-5,040	-4,307
利用者一人当たりコスト	0.60	0.69	0.74	0.68

修繕履歴	金額	2,166	内容	2019年度から2023年度 GHP修繕・給湯器修繕等
改修履歴	金額	2,805	内容	2023年度 浴室換気設備改修
今後10年間での大規模改修 費用	2024年度：空調設備改修工事 20,405千円			

4 施設利用状況

利用対象	介護保険法による介護認定を受けた方で当事業所と契約を締結した者	
開館時間	平日	午前 9 時～午後 5 時
	休日	午前 9 時～午後 5 時
休館日	12月29日～1月3日	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	6,496	5,787	6,857	6,380	7%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用日数	362	362	362	362	100%
年間利用可能日数	360	360	361	360	100%
稼働率	101%	101%	100%	100%	100%

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	老人デイサービスセンターすえひろ
---------	------------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
合計		1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
			過去3か年平均が10%未満
合計		0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
合計		6	

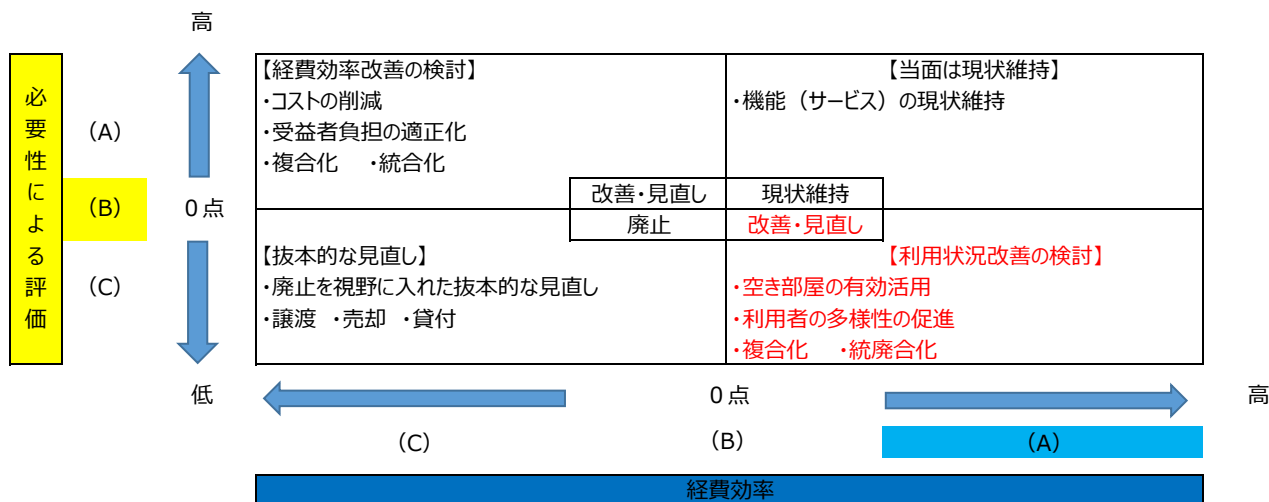
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	1
縦軸	必要性による評価	0
合計点数		1

【利用状況改善の検討】

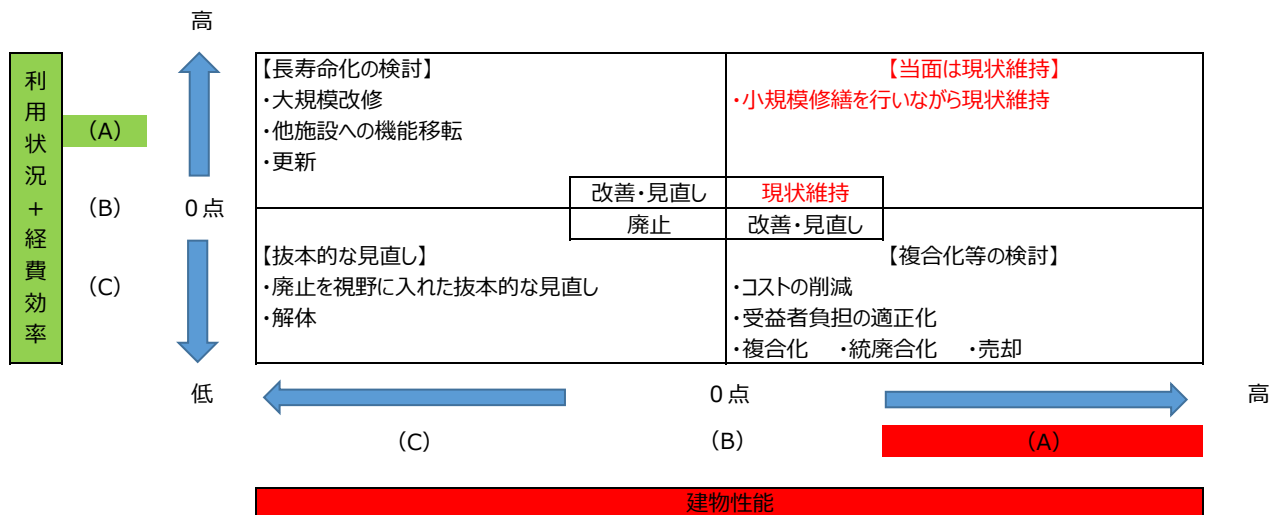


評価	説明
A	評価結果の集計点が、1 点以上
B	評価結果の集計点が、0 点
C	評価結果の集計点が、- 1 点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	6
縦軸	必要性和経費効率からの評価	1
合計点数		7

【当面は現状維持】



評価	説明
A	評価結果の集計点が、1 点以上
B	評価結果の集計点が、0 点
C	評価結果の集計点が、- 1 点以下